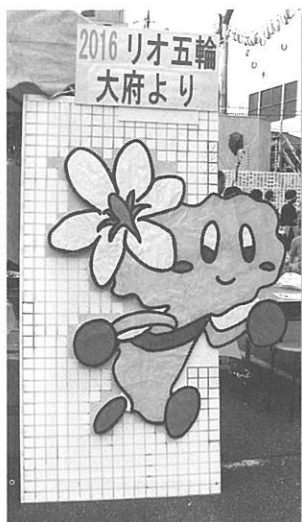




今年も「第35回大府夏まつり」が8月6日(土)・7日(日)の2日間にわたり開催されました。毎年恒例の盆踊りの他、地元小学生の金管バンドやストリートパフォーマンスなど、さまざまな催しにより、大変な盛り上がりを見せました。オリンピックイヤーの今年は、大府市を代表する出場選手を応援するメッセージボードにたくさんさんのコメントをいただきました。その甲斐あつてか、選手の方々の活躍は、ご存じの通りです。

大府夏まつり



ふれあい

大府コミュニティだより

編集発行

大府コミュニティ
推進協議会
事務局
大府公民館

助けあう

家庭と地域を

創造しよう

公民館まつり

10月1日(土)・2日(日)の
両日、大府公民館で「公民館
まつり」が開催されました。
オープニングは大府小学校に
よる金管バンドの大迫力の演
奏で始まりました。
子供たちにはゴーカート、
綿がしが行列ができるほどの
人気でした。



大府公民館芸能祭(予告)



H29.2.12(日)

年齢・性別を問わず
楽しめます。



是非、足をお運びください!

第43回 大府コミュニティ運動会

11月6日(日)
大府小



得点板

4	2	2	2	5	2	4	4	5	0
1		23		4		5		6	

結果報告!

1位 … 4ブロック

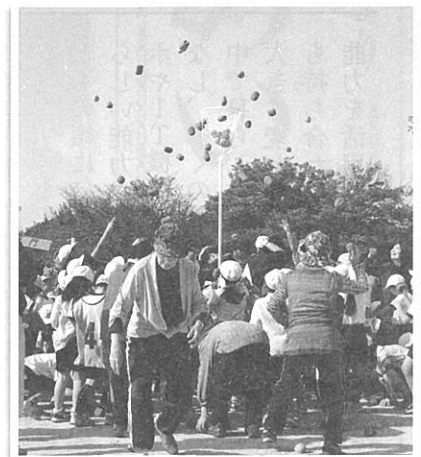
2位 … 6ブロック

3位 … 5ブロック



綱引きよいしょ!

みなさん
お疲れ様でした



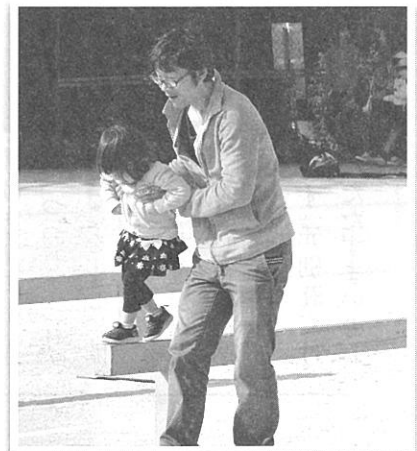
玉はどこかな?



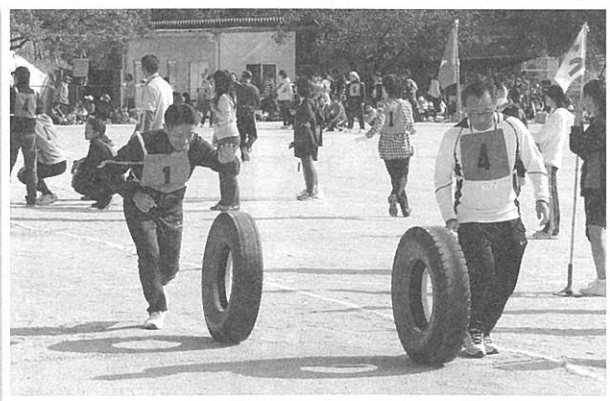
接戦ですね



いい顔?



ジャンプ するの!



うまく回ってますねー!



お父さん ガンバレ!

あの人この人

— 大府市立大府中学校長 —

佐藤 浩 先生

今回は、今年度から新たに大府中学校長として赴任されました佐藤浩先生をご紹介させていただきます。

先生から自己紹介文が届いておりますのでそのまま掲載させていただきます。



【プロフィール】

昭和35年9月24日生の56歳。九州福岡生まれで生後半年で大府にきました。大府小、大府中出身です。中学校時代は、体操部。高校からバレーボール、硬式野球、スキー部といろいろなスポーツをやり、教師になってからはもっぱらバレーボールの顧問をしていました。教科は保健体育。中学3年生の時の先生が、「この中から教師になつてくれる人がいたら嬉しい。」と言われ、単純に教師になろうか

なと思いました。理科教師になりたかったのですが、いつの間にか体育の教師になっていました。

【大府中学校の印象】

なにしろ母校ですので、校舎や体育館などの施設が建て直されて昔の趣は少なくなりました。とはいえ、北棟の教室・古くなったプール・校庭に降りるコンクリートの階段等、校内を回ると懐かしい思いがよみがえってきます。

現在生徒数967名、教職員は75名を数える大規模校です。生徒は、とても礼儀正しく、あいさつもしっかりでき、人の話を良く聞く等、落ち着いて生活している印象があります。服装・頭髪も爽やかで、今まで勤めた中学校の中でもどこか都会的な雰囲気さえ感じます。家庭での教育が行き届いているのだと感じます。

【子どもたちに期待すること】

今の子どもたちは、私たちが子どもの頃には持ち得なかったすばらしい能力を持っています。スマホやIT機器をすらすらと使いこなし、多くの情報を得られる世の中で暮らしています。また教育も大きく変わり、グローバルな視点も持ち合わせています。それらの能力を活用して、世の中や自分の

人生が平和で幸福になるように、それぞれが考え、有意義な人生を送ってくれたらと思います。

【地域の方々にお願いすること】

子どもは宝です。その子どもたちが、勉強に運動に励む学校という場所は、世の中で一番大切な場所だと私は思っています。いろいろな面でご心配やご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、大府中学校と生徒が、地域の中で愛され、健全に暮らし、将来を担う人間になれるよう、お力をお貸しください。

大府あれこれ

大倉公園



JR大府駅から東へ徒歩5分、高い場所に大倉公園があります。春の「つつじまつり」はここを中心に開催されます。

ノリタケ初代社長の大倉和親氏の別荘として建てられ、昭和の初期には皇族の賀陽宮恒憲王もお泊まりになったそうです。元別荘だけあって、落ち着いたたたずまいのお

庭はよく整備され、四季折々の風情が楽しめます。

なにやら昔懐かしい造りの別荘は、茶室も含めて、借りることが可能です。管理棟は、和室10畳、茶室、集会室。休憩棟は、和室10畳×3室、6畳×1室です。

子供会や集会、お茶会、イベントなどに利用できます。



詳しくは大府市のHPを見るか、建設部都市計画課にお問い合わせください。

(北自政 柴田)

あとがき

また年の瀬が迫ってきました。小学生の頃の一日は長くて充実していたように感じます。特に夏休みなどは、ラジオ体操、蟬取り、プール、花火、絵日記、宿題……。一年が、人生分の一だとすれば、分母がどんどん大きくなるわけで、一年はどんどん短くなることになる。

せめて今を楽しみながら、一日一日を大切にして行こうと思う今日この頃です。

(M・S)